



# し へん だい ぺん 詩篇 第8篇

1. 主、われらの主よ、あなたの名は  
地にあまねく、いかに尊いことでしょう。  
あなたの栄光は天の上にある、

2. みどりごと、ちのみごとの口によって、  
ほめたたえられています。あなたは敵と  
恨みを晴らす者とを静めるため、  
あだに備えて、とりでを設けられました。



3. わたしは、あなたの<sup>ゆび</sup>指の<sup>てん</sup>わざなる<sup>てん</sup>天を  
<sup>み</sup>見、あなたが<sup>もう</sup>設けられた<sup>つき</sup>月と<sup>ほし</sup>星とを<sup>み</sup>見て  
<sup>おも</sup>思います。

4. 人は<sup>ひと</sup>何者<sup>なにもの</sup>なので、これを<sup>こころ</sup>み心に  
とめられるのですか、人の<sup>ひと</sup>子<sup>こ</sup>は<sup>なにもの</sup>何者<sup>なにもの</sup>なので、  
これを<sup>かえり</sup>顧みられるのですか。

5. ただ<sup>すこ</sup>少しく<sup>ひと</sup>人を<sup>かみ</sup>神よりも<sup>ひく</sup>低く<sup>つく</sup>造って、  
<sup>さか</sup>栄えと<sup>ほまれ</sup>誉とを<sup>こうむらせ</sup>こうむらせ、



6. これに <sup>て</sup>み手の <sup>わざを</sup> わざを <sup>おさ</sup> 治めさせ、  
よろずの <sup>もの</sup> 物を <sup>あし</sup> その <sup>した</sup> 足の下に  
おかけました。

7. すべての <sup>ひつじ</sup> 羊と <sup>うし</sup> 牛、また <sup>の</sup> 野の <sup>けもの</sup> 獣、

8. <sup>そら</sup> 空の <sup>とり</sup> 鳥と <sup>うみ</sup> 海の <sup>さかな</sup> 魚、<sup>うみじ</sup> 海路を <sup>かよ</sup> 通う  
ものまでも。



9. 主しゅ、われらの主しゅよ、あなたの名なは地ちにあまなく、いかに尊たつといことでしょう。

---

神かみはまた言いわれた、「われわれのかたちひとに、われわれにかたどって人ひとをつくり、これに海うみの魚さかなと、空そらの鳥とりと、家畜かちくと、地ちのすべての獣けものと、地ちのすべてのほうものおさとを治おさめさせよう」。  
(創世記 1:26)

---

聖句は日本聖書協会の口語訳聖書より  
出版：マイ・ワンダー・スタジオ  
Copyright © 2015年、ファミリーインターナショナル  
"Psalm 8"--Japanese  
関連の読み物はこちら ⇒ 聖書、創造